

演題登録システム管理担当: 須佐

### 1. 「診断病理」のオンライン化について

#### (1) 投稿・査読について

「診断病理」のオンライン投稿・査読システムの運用が平成 27 年 6 月 29 日より開始されました。詳細については、以下をご参照下さい。

<http://pathology.or.jp/kankoubutu/jour-jjdp.html>

#### (2) 閲覧について

「診断病理」の有料オンライン閲覧を委託して参りました「メディカルオンライン」を通じて、会員の皆様には、「診断病理」のフルテキストを無料でご覧頂けることになりました。

<http://www.medicalonline.jp/>

詳細は会員 HP 内をご参照下さい。

<https://center6.umin.ac.jp/oasis/pathology/shindanbyouri-150613.html>

### 2. “Pathology International” の Impact Factor について

Pathology International の 2014 年 Impact Factor は、1.691 と前年度より高くなり、2012 年に次ぐ高さとなりました。さらなる改善に向けた取り組みを始めたばかりでもありませんので、上昇傾向が続くよう、会員の皆様におかれては引き続きご支援を宜しくお願いいたします。

### 3. 第 61 回秋期特別総会一般演題 (ポスター) 募集中

平成 27 年 11 月 5 日～6 日開催の標記総会 (東京) における一般演題 (ポスター) を募集しています。

募集期間: 平成 27 年 7 月 21 日 (火) 正午まで

応募詳細: 以下の総会 HP をご参照下さい。

<http://www.jsp61.net/abstract.html>

応募資格: 筆頭演者は、日本病理学会の会員であることを原則とします。

(ただし海外在住外国人の応募についてはこの限りではありません)

入会手続きの詳細は日本病理学会事務局にお問合せ下さい。

その他: 演題登録に際しては一部日英併記をお願いしております。

またポスターも英文での作成を推奨しています。

お問合せ: [jsp61@convention-system.net](mailto:jsp61@convention-system.net)

運営事務局

### 4. 第 104 回日本病理学会総会ご報告

同総会会長名古屋大学大学院医学系研究科 教授  
高橋雅英

第 104 回日本病理学会を 2015 年 4 月 30 日から 5 月 2 日にかけて、メインテーマとして「医の原点を見つめ、明日の病理学を拓く」を掲げ、名古屋国際会議場で開催した。メインテーマと関連して、特別講演では諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生に「鎌田流の「医の原点」を見つめてみる」というタイトルでチェルノブイリ、イラク、東日本大震災の被災地での医療支援活動のお話しをしていただき、会員に大きな感動を与えた。シンポジウムでは「明日の病理学を拓く」というテーマと関連した 3 つのシンポジウム「がんを周りから見る」、「新技術・新概念が拓く次世代病理学」、「感染症関連がんの cutting edge — 病理診断、病理標本からのアプローチ」を企画した。

特別企画としては「徒然病理医絵巻～女性病理医の日常～」と「海外で活躍する日本人病理医」という 2 つの新しい企画を行い、いずれも大変好評であった。特に前者は子供も同伴できる形式で会場を設営し、全国の女性病理医の良い交流の場となった。このほか「最先端研究セミナー」(4 企画)、「若手研究者教育セミナー」(3 企画)、「シンポジウム」(8 企画)、「ワークショップ」(6 企画) など多彩な企画を実施した。

海外研究者としては、Ming Zhou 先生 (米国) に泌尿器疾患病理、Ian Ellis 先生 (イギリス) に乳腺病理、Albert Roessner 先生 (ドイツ) に骨軟部病理について教育講演をしていただき、海外の一流の病理医の話を直接聞く機会が得られ、学会員の刺激になったと考えている。

一般演題の応募数は 1,242 題になり、そのうち学部学生のポスター発表は 120 演題であった。本総会では英語化の推進が重要なミッションであり、総会 Web サイトの英語バージョンの作成、演題登録における演者、所属、講演タイトルの日英表記、ポスター発表における英語による作成の推奨、一般口演における英語セッションの企画などを行った。約 4 割のポスターが英語で作成されており、英語化への 1 歩を踏み出すことができた。

尚、以下のご報告もご参照下さい。

※第 104 回日本病理学会総会市民公開講座の開催のご報告  
<http://pathology.or.jp/ippan/shiminkouza/104-shiminkouza-150531.html>

※日本病理学会 100 周年記念病理学研究新人賞授賞式の御報告

<http://pathology.or.jp/jigyoku/100syuunen/rookie-award-150508.html>

## 5. 胃癌 HER2 病理診断ガイドライン公開と乳癌 HER2 ガイドライン意見募集について

胃癌 HER2 ガイドライン作成委員会(委員長：森井英一)では、4月に標記ガイドラインを策定し、学会 HP で公開いたしました。ご参考にしていただければ幸いです。

参照 HP：[http://pathology.or.jp/side/pdf/her2\\_guideline\\_0613.pdf](http://pathology.or.jp/side/pdf/her2_guideline_0613.pdf)

また現在策定中の乳癌 HER2 ガイドライン(案)につきましては、8月末日まで会員の皆様のご意見を募集しております。

参照 HP：<http://pathology.or.jp/news/whats/nyuganHER2-150613.html>

## 6. 不審なメールにご注意下さい。

本学会のアンケート調査を騙る不審なメールが平成 27 年 5 月 29 日以降発生しているとの報告がございました。会員におかれては充分なご注意をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。今後本学会からは添付書類の形でのアンケート依頼は原則行わないことといたします。

尚、不審メールの見分け方として、IPA(情報処理推進機構)が公開している資料を掲載いたしますので、参考にして下さい。

IPA テクニカルウォッチ

「標的型攻撃メールの例と見分け方」

<https://www.ipa.go.jp/security/technicalwatch/20150109.html>

## 7. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

湯本 東吉 功労会員(平成 27 年 2 月 23 日ご逝去)

## お知らせ

### 1. 「再生医療等の安全性の確保等」について

厚生労働省医政局研究開発振興課再生医療研究推進室再生医療等研究係より標記の件につき、周知依頼が参りました。以下厚生労働省 HP をご参照下さい。

参照 HP

<https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kantoshinetsu/jji/saiseiryoku-gyoununaiyou.html>

### 2. 医師主導により医療機器の開発・事業化支援(周知依頼)

日本医師会では「医師主導による医療機器の開発・事業化支援」につきまして、ホームページを開設し、業務を開始しております。本件は、臨床医による医療機器の開発や事業化について、そのきっかけとなる窓口の提供と事業化

への支援を行うことで、新たな医療機器の開発を促進し、国民により安全で質の高い治療技術を提供していくことを目的とするものです。

参照 HP：<http://jmamdc.med.or.jp/>

### 3. 第 40 回組織細胞化学講習開催のお知らせ

日程：平成 27 年 8 月 5 日(水)～7 日(金)

場所：帝京平成大学池袋キャンパス/帝京大学医学部大学棟、講義室・実習室

テーマ：「組織細胞化学の新たな展開—見る・観るを通じた生命科学」

主催：日本組織細胞化学会

世話人：帝京大学医学部脳神経外科主任教授

松野 彰

申し込み・詳細：<http://kjshc.nacos.com/>

締切：平成 27 年 7 月 12 日まで延長

※コースにより申し込み受付終了しているものもございます。

### 4. 「朝日賞」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、7 月 24 日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：朝日新聞文化財団

参照 HP <http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/>

### 5. 「研究業績褒賞(上原賞)」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、8 月 4 日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人上原記念生命科学財団

参照 HP <http://www.ueharazaidan.or.jp/>

### 6. 「第 24 回木原記念財団学術賞」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、8 月末日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

参照 HP [http://kihara.or.jp/news/news/post\\_12.html](http://kihara.or.jp/news/news/post_12.html)

### 7. 「東レ科学技術賞」および「東レ科学技術研究助成」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は下記を参照の上、9 月 9 日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

主催：公益財団法人東レ科学振興会

参照 HP <http://www.toray.co.jp/tsf/>



